



2020年度年間活動報告書

2021年 6 月 30 日

—

NPO法人ケイロン・イニシアチブ

郵便番号153-0041 東京都目黒区駒場1-44-14-1001

info@cheiron.jp

<https://www.cheiron.jp>

2020年度年間活動報告書発行にあたって

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。NPO法人ケイロン・イニシアチブは、「研究者と家族の想いを世界の未来とつなぐ」を合言葉に、研究と家族を取り巻く社会的動向を重ね合わせた新たなサイエンス推進のビジョンを共有する国内外の行政、アカデミア・企業の研究者、研究助成機関、学術出版社、医療・教育・法務・会計・ビジネスの専門家、次世代コミュニティの推進者、そして研究者の家族自身の有志が集まり、推進しています。

NPOとしての活動を開始して2年目にある2020年度は、Japan XR Science Forum 2020 in US Midwestの開催から始まりました。世界13カ国1100名を超える規模の国際学術集会和、完全オンライン、かつ仮想現実 (VR) 空間を含めて開催することはケイロン・イニシアチブとして大きなチャレンジでしたが、共同主催の海外日本人研究者ネットワーク (UJA) をはじめとする多くの方々のおかげとご支援により成功に導くことができました。また、2021年には当法人初のクラウドファンディングに挑戦し、100名を超える方々から多くのご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

上記フォーラムでは、大隅良典先生 (2014年ノーベル生理学・医学賞)、Torsten Wiesel先生 (1981年ノーベル生理学・医学賞) から、当法人の活動への期待のお言葉を賜り、法人メンバー一同感激するとともに、さらに活動を推進しました。2021年の研究者家族留学支援イニシアチブ "Cheiron-GIFTS" は海外での研究生活に困難を伴う5家族を支援することとなりました。1位に選ばれた小児科医・研究者の宮地さんにはシングルマザーとして海外で研究生活を進める上で、その他の受賞者の皆様にも、本助成金を最大限活用していただくことを祈念しております。コロナ禍で海外研修を断念せざるを得なかった高校生に向けた "留学デザインProgram" は、熊本県立熊本高校、東京都私立駒場東邦高校、愛知県私立東海高校との連携により、多くの学生さんにご参加いただきました。Springer-Nature社が推進するユリウス・シュプリンガー奨学金プログラムにもご協力させていただきました。コロナ禍の困難を伴う毎日の中、我々が揺るぎなく、より明るい未来を拓くことを信じ進んで来られたのは、皆様からの温かいご支援のお陰です。重ね重ね御礼申し上げます。

皆さまからの温かいお言葉を胸に、ケイロン・イニシアチブは、研究者と家族を持てる力の限り支援し、その笑顔が未来のイノベーションを後押しするようさらなる活動に取り組んで参ります。今後も、倍旧のご愛顧とご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

NPO法人 ケイロン・イニシアチブ

理事長 足立春那

沿革

2021年

- [\[プレスリリース\]](#) UJAとケイロン・イニシアチブが欧州における日本人研究者ネットワーク形成の第一歩として、「Japan XR Science Forum 2021 in Paris」をオンライン上にて開催致します (2021/6/18)
- [The 2nd Science Forum XR Innovation Hub](#)の開催に協力致しました (2021/5/15-16)
- 当法人として初めての[クラウドファンディング](#) (Readyfor社) を行い、100名を超える方からのご支援により、プロジェクト成立となりました (2021/3/31)
- [\[プレスリリース\]](#) NPO法人ケイロン・イニシアチブは、日本国外で挑戦している研究者に帯同する家族のための第2回目となる助成金の公募を開始しました (2021/3/24)
- [The 1st Science Forum XR Innovation Hub](#)の開催に協力致しました (2021/2/20)
- ユリウス・シュプリンガー奨学金プログラムへの協力を開始致しました (2021/2/5)。
- 第64回Southern California Japanese Scholars Forum (California Scholars Fourm共催) オンラインフォーラム「どうする！？ニッポンの科学の大問題」に、副理事長の足立剛也が登壇し、当法人の活動を紹介させていただきました (2021/1/23)

2020年

- 第5回IoMT (Internet of Medical Things) サミットに、副理事長の足立剛也が登壇し、当法人の活動を紹介させていただきました (2020/12/15)
- 大阪国際サイエンスクラブ国際交流懇談会「最新のXR(クロスリアリティ)技術が繋ぐ、学术界と産業界の対話の近未来」に、副理事長の足立剛也が登壇し、当法人の活動を紹介させていただきました (2020/12/8)
- 第4回研究大学コンソーシアム (RUC) シンポジウムパラレルセッション「Withコロナ時代の国際人材交流について」に、副理事長の足立剛也が登壇し、当法人の活動を紹介させていただきました (2020/11/13)
- [NHK WORLD](#)に、Japan XR Science Forum 2020 in US Midwestが取り上げられました (2020/9/19)
- 留学のすゝめ2020@世界アレルギー学会の開催に協力させていただき、当法人の活動を取り上げていただきました (2020/9/18)
- リサーチ・アドミニストレーター (RA) 協議会 第6回年次総会「海外ファンドを活用した若手研究者の国際化支援を学ぶ」に、副理事長の足立剛也が登壇し、当法人の活動を紹介させていただきました (2020/9/17)
- [\[Yahoo!life\]](#) Nobel Prize Winners in Physiology and Medicine Gave Video Messages to "Japan XR Science Forum 2020 in US Midwest", the International Science Forum a Variety of Researchers Joined With Their Families (2020/8/11)
- 第2回留学デザインProgramをUJAと共催いたしました (2020/7/31)

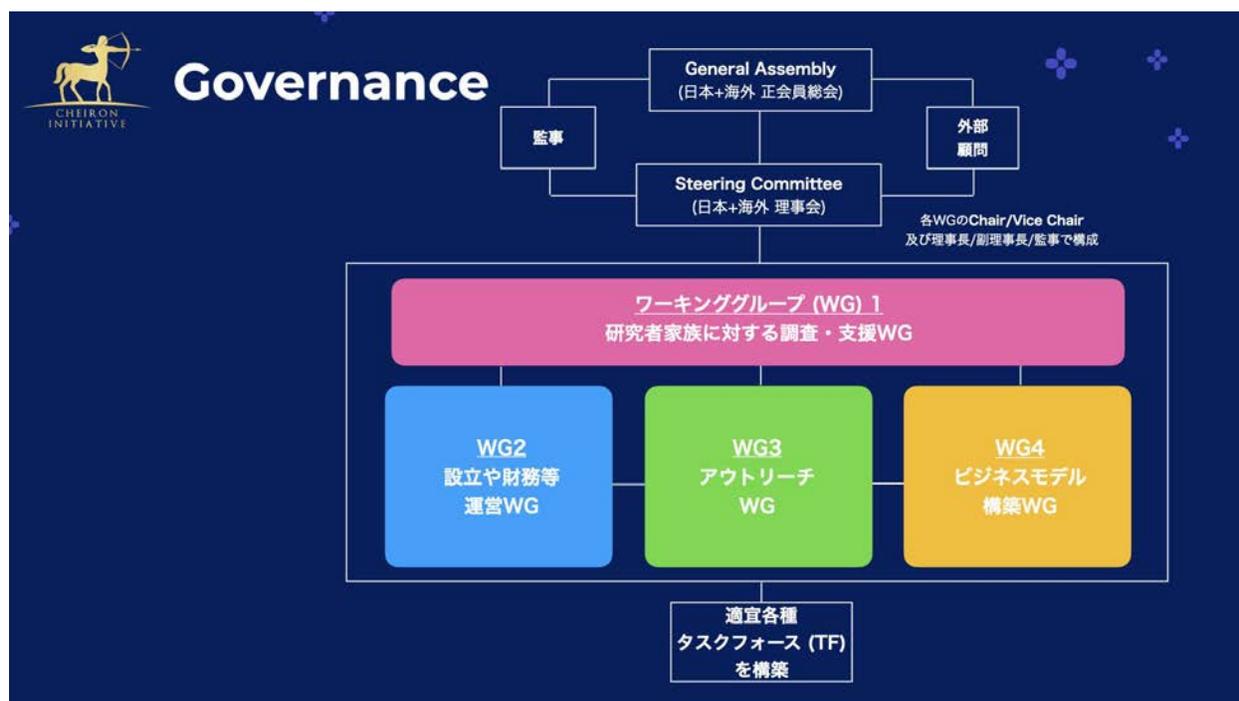
- [\[プレスリリース\]](#) Japan XR Science Forum 2020 in US Midwestの事後報告を行い、Yahooニュースでも取り上げられました (2020/7/20)
- Japan XR Science Forum 2020 in US Midwestを、UJAとともに主催し、世界13か国1117名の研究者と家族にご参加いただきました。また、会期中にCheiron-GIFTS受賞者のVR贈呈式を執り行いました。(2020/7/12)
- [\[プレスリリース\]](#) UJAとケイロン・イニシアチブが、世界で初めて研究者と家族が参加するバーチャルリアリティ学会を開催「Japan XR Science Forum 2020 in US Midwest」
- 第10回 General Assemblyが開催されました (2020/6/7)
- 第1回留学デザインProgramをUJAと共催いたしました (2020/5/29)
- 連携団体のニュースレターUJA GAZETTEに当法人の活動が取り上げられました (2020/4/26)
- 4/25 UJA論文賞オンライン授賞式を共催させていただきます (2020/4/21)
- 第9回 General Assemblyが開催されました (2020/4/12)
- Natureダイジェスト (4月号) に理事長のインタビューが掲載されました (2020/4/1)
- Cheiron-GIFTS2020 (研究者家族留学支援イニシアチブ) の応募受付を開始しました (2020/4/1)
- 京都大学男女共同参画推進センターにCheiron-GIFTSが取り上げられました (2020/3/30)
- 慶應義塾大学日吉学術研究支援サイトでCheiron-GIFTSが取り上げられました (2020/3/28)
- 日経ビジネスでCheiron-GIFTSが取り上げられました (2020/3/27)
- 研究大学コンソーシアムでCheiron-GIFTSが取り上げられました (2020/3/26)
- 日本経済新聞 (紙面及びオンライン有料版) でCheiron-GIFTSが取り上げられました (2020/3/24)
- [\[プレスリリース\]](#) 研究者家族向け助成金制度「Cheiron-GIFTS (研究者家族留学支援イニシアチブ)」を創設し、2020年公募を4月1日より開始します (2020/3/13)
- 第8回 General Assemblyが開催されました (2020/3/1)
- 在仏日本人研究者意見交換会2020@在仏日本国大使館で紹介されました (2020/2/18)
- 第3回 Steering Committeeが開催されました (2020/2/9)
- 第7回 General Assemblyが開催されました (2020/1/5)

2019年

- LinkedIn「The Future of Japan」インタビューシリーズで取り上げられました (2019/12/15)
- NHKニュースでNPO法人ケイロン・イニシアチブが報道されました (2019/12/14)
- EMBA三田会でNPO法人設立を報告する講演会を開催いただきました (2019/12/13)
- 第2回 Steering Committeeが開催されました (2019/12/13)
- 京都大学セミナー「国際・学際的研究のフロンティアへの挑戦」で紹介されました (2019/12/9)
- 留学のすゝめ2019@日本分子生物学会で紹介されました (2019/12/5)
- 慶應義塾大学ジュニアドクター育成塾で紹介されました (2019/11/24)
- 第6回 General Assemblyが開催されました (2019/11/3)

- 研究者と家族の抱える問題を明らかにする実態調査が開始されました (2019/10/12)
- Midwest Research Conference 2019@ミシガン大学に協力させていただきました (2019/10/12)
- 第1回反分野的生物医療学会(ABiSS)@鶴岡を後援させていただきました (2019/10/5-6)
- NPO法人として設立が認証されました (2019/9/30)
- 留学のすゝめ2019@日本癌学会で紹介されました (2019/9/28)
- 順天堂大学 第1回若手研究者コミュニティで紹介されました (2019/9/24)
- 未来研究トークで紹介されました (2019/9/20)
- 阪大若手研究フォーラムで紹介されました (2019/9/17)
- 第1回 Steering Committeeが開催されました (2019/9/13)
- 第5回 General Assemblyが開催されました (2019/8/16)
- 東京都にNPO法人申請を行いました (2019/7/17)
- 令和元年NCNP国際セミナーで紹介されました (2019/7/5)
- 設立総会 (第4回 GA) が開催されました (2019/4/12)
- 第3回 General Assemblyが開催されました (2019/6/1)
- 第2回 General Assemblyが開催されました (2019/4/12)
- 第1回 General Assemblyが開催されました (2019/2/27)

体制図



- ・研究者と家族に対する調査・支援を行うワーキンググループ (WG) 1と、財務や運営に関するWG2、アウトリーチに関するWG3、ビジネスモデル構築に関するWG4とが縦横の連携体制を構築しています。
- ・総会にあたる「General Assembly」を年3-4回開催し、メンバー全員が参加するとともに、WGを横断的に進められるプロジェクトについては、別途タスクフォース (TF) を構築します。
- ・理事会にあたる「Steering Committee」が法人全体の活動を主導し、外部顧問によるアドバイス、監事による監査を受けます。
- ・今後、海外での支援活動をさらに推進するため、欧州での支部設立等が検討されています。

外部顧問・役員・メンバー



Board of Big Picture

竹中 洋
京都府立医科大学 学長

久保 真季
沖縄科学技術大学 (OIST) 元副学長

水澤 英洋
国立精神・神経医療 研究センター 名誉理事長

西川 朋子*
文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクト 「トビテテ！留学JAPAN」 広報・マーケティングチームリーダー

清元 ひでやす
姫路市長
東北大学客員教授、医師・医学博士

久保田 絵里
株式会社メディアプロデュース CEO
慶應義塾大学大学院 Executive MBA

*個人として参加



Directors & Members

ビジョンを共有するのは国内外のアカデミア・企業の研究者、行政、研究助成機関、学術出版社、医療・法務・会計・ビジネスの専門家、次世代コミュニティの推進者、学生、そして研究者の家族自身です。

 Haruna ADACHI President 研究者の家族	 Keigo KAINUMA 行政にて医療戦略を推進・小児科医	 Sae OHARA 研究者の家族 研究開発助成	 Ikuko OBA 学術出版社 Director	 Alexandre DUPUIS Strasbourg 日系企業 Director	 Hiromi MIZUNO 地域創生に挑む 企業グループCEO	 Takeya ADACHI 大学講師・アレルギ－研究者 UJA代表理事兼会長
 Yohei NATSUAKI Skin Research Institute of Singapore研究者・医師	 Motoshi HAYANO 大学講師・老化研究者 ASG-Keio代表理事	 Akio TOKUDA 公認会計士	 Sara KOBAYASHI インフォグラフィクス 動画クリエイター	 Asami KOSAKI Strasbourg 音楽院 鍵盤楽器奏者	 Teruaki NAKAYAMA P2P連携型決済プラットフォーム企業CEO	 Toshiaki TAKAHASHI 一般社団法人 Papa to Children 理事
 Hideki MIWA 研究者・元ハーバード 大学訪問助教授	 Yoko ADACHI 医療社団法人 事務長	 Yuyu Kamijo 学生メンバー Strasbourg大学交換留学生	 Shiho KASAHARA Strasbourg 大学 芸術文化事業部	 Tatsuyoshi KONO インディアナ大学医学部 Research Assistant Prof.	 Akira Goto-Tajima フランス国立保健医学研究 機構INSERM主任研究員	 Aiko SADA 熊本大学准教授・ 筑波大学客員准教授

各ワーキンググループ活動報告

1. 研究者家族に関する調査・支援ワーキンググループ

事業内容

この研究者家族に関する調査・支援ワーキンググループ(以下、調査支援WG)は、海外で生活する研究者家族に関する実情を調査し、その生活環境改善に向けた支援を行うことを目的としています。この目的を実現化するために、調査支援WGのなかで、さらに以下の3つのタスクフォースを設置し、それぞれに取り組みを進めてまいりました。

- 1、研究者家族が抱える課題を明らかにするためのアンケート調査
- 2、研究者家族留学支援イニシアチブ:Cheiron-GIFTS
- 3、研究者と家族が直面しうる諸問題に関する情報提供(Web発信)

(それぞれのタスクフォースの概要については、それぞれの項をご参照ください。)

これら3つのタスクフォースが連携し、当法人の活動の方向性を示し、法人内の各WGとの緊密な連携によって、当法人が目指す「研究者と家族の想いを世界の未来とつなぐ」ことが実現で

きるものと考え、事業を進めているところです。今後も研究者家族の生活における課題解決に向けた事業展開を構築してまいります。

WGメンバー

- Chair: 貝沼圭吾
- Vice Chair: 早野元詞、陰山卓哉
- 正会員メンバー: 夏秋洋平、箕畑俊和、三輪秀樹

タスクフォース1 研究者家族留学支援イニシアチブ Cheiron-GIFTS

事業内容・イベント報告など

- 概要
 - 現在約200万人いると推定される日本人研究者の家族の中には、配偶者のキャリアパスや子供の教育、親の介護等の問題で海外留学や研究継続を断念するというような不幸な「家族ブロック」の事例が少なくない。
 - Cheiron-GIFTS (Cheiron Grant Initiative for Families enabling Tomorrow's Science, 研究者家族留学支援イニシアチブ)は研究者の家族に向けた助成金制度として、家族に関する不安や懸念を払拭するとともに、日本の研究者が研究の場を海外に置き、安心して国際的な研究を推進できる環境を整備・支援することを目的として創設したものである。
 - なお、支援テーマを事業年度毎に設定することとしており、2021年のテーマは「研究者の家族の海外でのキャリアパスの問題」「研究者の家族の科学・技術・芸術に関する教育」とした。
- 開催日時, 場所, 参画メンバー, 協賛情報など
 - 評価委員
 - Non-reviewing chair: 陰山卓哉
 - Non-reviewing vice chair: 足立剛也
 - WG1^{※1}委員: 貝沼圭吾、夏秋洋平
 - WG2^{※2}委員: 大原彩衣
 - WG3^{※3}委員: 大場郁子
 - WG4^{※4}委員: 水野宏洋
 - ※1: 研究者家族に関する調査・支援ワーキンググループ
 - ※2: 設立や財務等を含めた横断的ワーキンググループ
 - ※3: アウトリーチワーキンググループ
 - ※4: 外部連携やビジネスモデル構築ワーキンググループ

外部顧問

- 姫路市長 清元ひでやす
- 沖縄科学技術大学院大学 元副学長 久保真季
- 株式会社メディプロデュース 久保田絵里
- 京都府立医科大学 竹中洋

- ・ 文部科学省「トビタテ！留学JAPAN」西川智子 (個人として参加)
- ・ 国立精神・神経医療研究センター 名誉理事長 水澤英洋
- 主な活動履歴等
 - 2021.03.15 公募予告 (プレスリリース)
 - 2021.04.01 公募開始
 - 2021.04.30 公募終了 (応募28件、全28件を受理)。
 - 2021.05.16 評価委員会
 - 2021.06.05 Steering Committee (採択決定)
 - 2021.06.15 採択通知発出
 - 2021.07.03 採択者の公開
- URLなど
 - <https://www.cheiron.jp/grant>
- 今後の展開
 - 継続的な実施に向けて、広報活動の充実と助成金額の拡充を推進する

II. 設立や財務等を含めた横断的ワーキンググループ

- Chair (2020年7月1日-2021年4月30日): 大原彩衣、薬剤師
- Vice Chair: 徳田昭夫、公認会計士
- 正会員メンバー: 足立葉子、医療法人社団功仁会釧路皮膚科クリニック事務長

事業内容・イベント報告など

- 東京都への事業報告書等の提出、役員変更の届出
- 役員重任、及び、住所変更の変更登記
- 貸借対照表の公告
- 特例認定取得に向けての準備
- 都民税(均等割)免除決定通知書の受領
- 年度末事業決算および各種申請
- 特例認定取得に向けての準備

お知らせ

- 特例認定取得を視野に入れた東京都への事前相談、申請等を計画していません。

III. アウトリーチワーキンググループ

メンバー紹介

- Chair: 大場郁子 シュプリンガー・ネイチャー 取締役、日経サイエンス取締役
- Vice Chair: アレクサンダー デュピュイ 日系企業フランス支部ディレクター
- 正会員メンバー: 小林沙羅 サイエンスイラストレーター/アニメーションクリエイター、笠原志保 ストラスブール大学芸術文化事業部勤務・アルザス補習校講師、小崎麻美 ストラスブール音楽院古楽科学生・アルザス補習校講師・演奏家 出口拓実 講談社
- 学生会員メンバー: 上條優由 ストラスブール大学社会学部留学生

事業内容・イベント報告など

- 家族のカタチが多様化する現在、研究者と家族が抱える課題は複雑であり、その解決策も様々です。研究者の家族が直面した課題をいかに克服したか、過去の実体験に基づく解決策を地域別、課題別にわかりやすく共有する情報プラットフォーム cheiron.jp を構築しました。
- 二年目となる2020年は、Cheiron-GIFTS受賞者の体験談を記事として紹介しました。
- 記事の執筆にあたっては、法政大学 経済学部 物理学・科学ジャーナリズム研究室の藤田貢崇教授にご協力いただきました。
- Cheiron.ip掲載コンテンツをSNSやニュースレター等で幅広く共有しました。

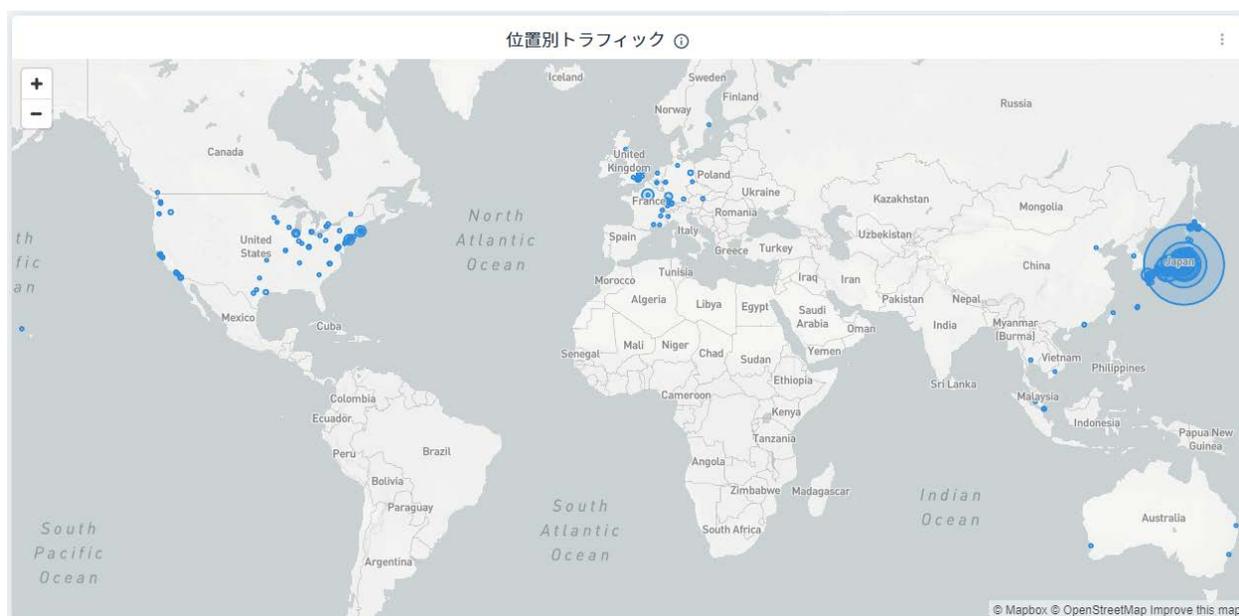
概要

- 情報プラットフォームの構築
- 掲載コンテンツ
 - 体験談 10報
 - ニュース 15件
- ニュースレター登録者 833名
- アクセス状況
 - サイト開設の2020年7月1日から2021年6月30日までのアクセスは、8,205人のユニークビジターにより、合計10,015回のアクセスを獲得しました。(図III-1)
 - 国別には、日本はもちろん、フランス、アメリカ、イギリス在住者のコンテンツが掲載されていることから、アクセスも同様の傾向が見られます。(図III-2)

図III-1. Cheiron.jpの年間アクセス数



図III-2. 国別アクセス



o ニュースレターの配信(図III-3)

- 2020年は、3報のニュースレター第一号を配信しました。約700名への配信に対するオープンレートは約50%でした。
- 2020年からは配信の方法を改善し、昨年のように通常のメール配信ではなく、ウェブサイト構築に使用している情報プラットフォームであるWixの機能を活用しました。これにより、誤送信などのリスクを軽減し、また開封数などのデータも取れるようになりました。

図III-3. ニュースレター3報

Cheiron Initiative
3月10日 · 🌐

【研究者とその家族を支援するためのクラウドファンディングプロジェクトを開始しました！】

このプロジェクトでは研究者とその家族を支援する助成金を推進するために、皆様からのご支援をお願いしたいと考えています。

日本国外への留学、特に家族を伴っての留学には研究や学業の課題だけでなく、日常生活や配偶者のキャリア、子供の育児・教育など、大小さまざまな課題に直面します。

新型コロナウイルスの世界的な流行により、すでに海外留学している人にとっても、これから留学することを検討していた人にとっても、留学はさらに困難なものとなりました。

この大変な状況の中、困っている研究者と家族の方々を一人でも多くサポートするために、皆さんのお力を貸していただけたら嬉しいです。1ヶ月と短い期間の挑戦となりますが、応援をどうぞよろしくお願ひいたします！

https://readyfor.jp/projects/cheiron_initiative
#Cheironjp #ChieronGIFTS #研究者の家族

研究者の家族の笑顔には
明日を変える力があるから

Cheiron-GIFTS
Cheiron Grant Initiative for Families
enabling Tomorrow's Science



READYFORJP
日本国外で研究に挑戦している研究者と家族を助成金でサポートしたい！ - クラウドフ...
詳しくはこちら

○ プレスリリース3報

- 世界初！研究者と家族が参加した国際サイエンスフォーラム「Japan XR Science Forum 2020 in US Midwest」(2020/7/20)
- 国内外の異分野・異世代が交流するハッカソンイベント「The 1st Science-ome XR Innovation Hub～越境し共創する研究シーズの発掘と事業開発～」が開催されました (2021/2/20)
- 【Cheiron-GIFTS 2021 公募開始】NPO法人ケイロン・イニシアチブは、日本国外で挑戦している研究者に帯同する家族のための第2回目となる助成金の公募を開始しました。(2021/3/24)

IV. 外部連携やビジネスモデル構築ワーキンググループ

- Chair: 足立剛也 (監事 水野宏実)
- Vice Chair: 中山照章
- 正会員メンバー: 高橋俊晃、佐田亜衣子、後藤彰、河野龍義
- 学生会員メンバー: 久保田穰

事業内容・イベント報告など

Japan XR Science Forum 2020 in US Midwest

- 概要



Cheiron-GIFTS 2020の採択者贈呈式を2020年前半(2019年度末)に予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により直接開催が困難となり、さらに実施時期が同年7月(2020年度)にずれ込むこととなった。

- 開催日時, 場所, 参画メンバー, 協賛情報など
2020年7月12日、海外日本人研究者ネットワーク(UJA)と合同でオンラインで開催。世界13カ国1117名の研究者と家族が参加。バーチャルリアリティ世界での3Dアバターを介した講演、Cheiron-GIFTS贈呈式、ノーベル賞受賞者からのビデオメッセージなどを施行。
共催: ノースウェスタン大学日本人研究者の会(NUJRA)、Eureka Science School、日本医療研究開発機構(AMED)
後援: 在シカゴ日本国総領事館、US Embassy in Japan、科学技術振興機構(JST)
XR Partner: VR法人Hikky
協力: 株式会社メディプロデュース、Microsoft Project Users Forum(MPUF)、慶應義塾大学殿町タウンキャンパス、慶應義塾大学医学部体育会ヨット部、東京大学VR研究センター、国立科学博物館、一般社団法人慶應反分野的サイエンス会(ASG-Keio)、免疫アレルギー疾患研究10か年戦略次世代タスクフォースENGAGE
協賛: 大鵬イノベーションズ、ブリストルマイヤーズスクイブ、Leo Science & Tech Hub、インディアナ日本人会、アステラス製薬、近畿大学、慶應イノベーションイニシアティブ、大鵬製薬、ブロックバスター東京、など
- URL: <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000002.000057512.html>
- 今後の展開: 2021年7月3日にJapan XR Science Forum 2021 in Parisを開催し、Cheiron-GIFTS 2021の贈呈式を執り行う予定です。

留学"デザイン" Program

- 概要
新型コロナウイルスの感染拡大により、短期留学・海外研修を断念せざるを得なかった高校生を主な対象に、自らの手で留学をデザインする、をテーマに行われた次世代留学プログラム。東京都私立駒場東邦高等学校、愛知県私立東海高等学校、熊本県立熊本高等学校の学生とOBが中心となって開催された。
- 開催日時, 場所, 参画メンバー, 協賛情報など

2020年5月29日、7月31日、海外日本人研究者ネットワーク(UJA)と合同主催、発明塾の協力のもとオンラインでワークショップを2回開催。

第二回ワークショップ講演者: 西川朋子(文部科学省官民協働海外留学支援制度トビタテ! 留学JAPAN広報・マーケティングチームリーダー、ケイロン・イニシアティブ外部顧問)



タイトル: 留学は十人十色: あなただけの留学の形、探してみませんか?

- URL: <https://cheironinitiative.wixsite.com/ryugaku-design>
- 今後の展開: 2021年度は、7月30日、11月30日に東京学芸大附属高校、東京都私立駒場東邦高等学校、熊本県立熊本高等学校と連携して開催予定。

UJA論文賞

○ 概要

海外での若手日本人研究者の成果を表彰するため、2015年アメリカ中西部インディアナ州で設立され、ノーベル賞受賞者である根岸英一先生が初代審査委員長を務めた(2015-2017年)。日本人若手研究者の留学先での研究成果を、2年以内であれば帰国後の掲載であっても応募可能で、徐々に対象となる地域、分野を拡大。2021年は、生物学、医歯薬学、臨床医学の3分野はインディアナ、ミシガン、ジョージア、イリノイ、南カリフォルニアなど地域ごとに、物理学、数学、化学、工学は分野ごとに審査が行われた。

- 開催日時, 場所, 参画メンバー, 協賛情報など
2021年4月11日、海外日本人研究者ネットワーク (UJA) と合同主催。14名の論文賞受賞者、10名の特別賞受賞者の表彰及び講演を行った。
- <https://cheironinitiative.wixsite.com/uja-award>
- 今後の展開: がん患者をサポートする団体Cancer X、厚生労働省アレルギー研究推進タスクフォースENGAGEと連携し、がん、免疫アレルギー研究に特化した論文賞を設立予定



スポンサー・連携団体

スポンサー (団体)

- 医療法人社団功仁会
- 夏秋皮膚科クリニック
- 株式会社メディプロデュース
- 東山遊園株式会社
- 株式会社水野本社
- 株式会社CS-WORKS

スポンサー (個人)

- 足立あつ子、足立功一、足立太起、足立葉子、足立柳理、飯塚一、遠藤洋希、大場郁子、貝沼圭吾、神尾敬子、久保真季、小池隆夫、坂本陽子、佐藤俊晴、鈴木晋、高田千明、竹崎恵子、田島(後藤)彰、中鉢知子、続木小夜子、道林千晶、中島沙恵子、西間三警、畑田康司、深川和己、細野晃布、正木克宜、水野潤、宮崎裕也、山田浩之、渡辺正実

連携団体

(研究者コミュニティ)

- 一般社団法人海外日本人研究者ネットワーク (UJA)
- 一般社団法人慶應反分野的サイエンス会 (ASG-Keio)
- 大阪大学若手研究者フォーラム
- ミシガン金曜会

(コミュニケーションコミュニティ)

- MJC (Mojule Joint Coin)
- 発明塾

(教育コミュニティ)

- アルザス補習授業校 (ストラスブール)

(学生コミュニティ)

- フランス留学学生会



2020年度決算報告書

2020年7月1日～2021年6月30日

活動計算書

活動計算書

2020年7月1日から2021年6月30日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	103,000		
学生会員受取会費	8,000	111,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	4,127,000	4,127,000	
3. その他収益			
受取利息	7	7	
経常収益計			4,238,007
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
支払手数料	39,336		
支払助成金	1,150,000		
支払寄付金	100,000		
広告宣伝費	10,014		
その他経費計	1,299,350		
事業費計		1,299,350	
2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
業務委託費	121,000		
通信運搬費	3,084		
消耗品費	3,850		
支払手数料	637,046		
その他経費計	764,980		
管理費計		764,980	
経常費用計			2,064,330
当期正味財産増減額			2,173,677
前期繰越正味財産額			500,745
次期繰越正味財産額			2,674,422

貸借対照表

貸借対照表

2021年6月30日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,674,422		
流動資産合計		2,674,422	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,674,422
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		500,745	
当期正味財産増減額		2,173,677	
正味財産合計			2,674,422
負債及び正味財産合計			2,674,422

謝辞

協賛・寄付をいただいた企業・団体・個人の皆様へ

ケイロン・イニシアチブの活動は、活動の趣旨にご賛同いただいた多くの皆様からのご支援によって支えられています。

さらに多くの日本人研究者と家族を応援すべく、ご支援をお願い申し上げます。

なお、ご支援いただいた方につきましては、その貢献に謝意を表するため、以下のいずれかのような形で、当法人の広告媒体において適宜掲載させていただきます。

1. 当法人ウェブサイトパートナーページへのロゴ掲載
2. 当法人ウェブサイトパートナーページに掲載されたロゴの下に説明文
3. 当法人ウェブサイトトップページへのロゴ・バナー掲載＋パートナーページに掲載されたロゴの下に説明文

上記に加えて、研究者家族助成金贈呈式におけるご紹介等も行います。2021年7月3日に開催されたJapan XR Science Forum 2021 in Parisでは、エッフェル塔と東京タワーが佇む幻想的な仮想現実 (VR) 空間の懇親会場で、世界各地から参加された研究者・家族、企業・団体の方に以下のようにご紹介させていただきました。



ケイロン・イニシアチブは日本人研究者と家族との繋がり、絆をさらに深め、産官学民連携を通じて、日本のサイエンス発展に貢献していく所存です。

我々の活動にどうかご理解、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

NPO法人ケイロン・イニシアチブ
副理事長 足立剛也